

言葉の力 「白いキャンバスに夢を描いて」(取手松陽高等学校)

松陽便り 第327号

県庁舎内の教育委員室に生徒作品が飾られました。

県庁舎内22階にある教育委員室に本校生徒の作品が飾られました。

3月27日(火)に教育委員室で「教育委員室の絵画に係る感謝状贈呈式及び披露式」が開催されました。対象校は笠間高校と本校の2校で、本校からの出席者は、今春美術科を卒業した畑井優希さんとお母様、26年度美術科卒の吉村史也さん、赤平純子美術科主任、小幡校長です。まず、これまで3年間展示されていた吉村さん(油彩『果物の杜の獣』)に森田充学校教育部長から感謝状が贈呈されました。続いて、各校の校長から出席者の紹介をした後、作者本人から作品の解説がありました。今春、笠間高校を卒業した高野鈴乃さん(『ともだち』)、畑井さんの順に、展示された作品解説を行いました。畑井さんの作品は油彩『雨季 移り気』です。作品の内容について畑井さんは「紫陽花の鮮やかな景色の中に猫が偶然いて、その様は一見、大きな出来事ではないけれど、私には、そこだけ時が止まったかのように美しく感じられた。」と説明してくれました。森田部長、石井純一高校教育課長からもご質問をいただき、畑井さん、お母様、吉村さん、赤平主任から制作中の思いや感想などの話がありました。

最後に記念写真の撮影があり、この式の様子が茨城県教育委員会のホームページ内にある「フォトニュース」掲載される予定です。

吉村さん、畑井さん、おめでとうございます。



感謝状贈呈





『雨季 移り気』 畑井優希さん

